

TAKAMATSU
HISTORICAL
MUSEUM
annual report

高松市歴史資料館 年報
平成25年度 No.16

目次

I 展示

1 常設展.....	02
2 企画展.....	04
3 テーマ展	08
4 ロビー展	08

II 教育普及

1 サンクリスタル学習.....	09
2 学習室展示	10
3 講座	10
4 博物館実習	12
5 広報活動.....	12

III 資料整備

1 収集	13
2 貸出・特別利用.....	14
3 高松市収蔵品情報システム.....	15
4 ボランティア活動	15

I 展示

1 常設展

常設展示では、基本テーマを「瀬戸内海に育まれた高松の人々と暮らし」とし、高松の原始から現代にいたるまでの歴史と文化の変遷を通観できるようにしている。高松のすばらしさを知り、理解を深めてもらうのが目的である。

展示手法としては、各時代における特徴的な事象をテーマにすえ、実物資料・レプリカ・模型の展示だけでなく、映像資料・グラフィック等も駆使して、観覧者の知的要求に応じられるように特色ある展示構成を図っている。

また、別室のプレイミュージアム（学習室）では、パソコンなどを使って、高松の歴史や文化の情報を楽しみながら学べるよう工夫している。

なお、展示資料は、新収蔵資料による展示替えや資料の保存を考慮して随時入替えを行っている。

常設展示室

	テーマ	サブテーマ
プロローグ	海を渡る	
	高松平野の成立	・ 高松最初の人類
	稲作の発展と高松	・ 稲作前史 ・ 稲作のムラ
	石清尾山古墳群	・ 古代の国際交流 ・ 高松の古墳文化 ・ 古代山城 屋嶋城
	仏教文化と高松	・ 高松平野の奈良時代 ・ 花開く仏教文化
中世	源平合戦と屋島	・ 屋島合戦
	武士の活躍と高松	・ 荘園と農民 ・ 讃岐国守護細川氏 ・ 戦国武将
近世	城下町高松の発展	・ 高松城築城 ・ 香東川と栗林荘 ・ 高松城主松平家 ・ 高松の上水道 ・ 城下の賑わい
	讃岐三白と交通	・ 讃岐三白 ・ 港町高松 ・ 街道と海運
	町人文化と高松	・ 高松の教育 ・ 町人文化と暮らし

テーマ	サブテーマ	
近・現代	近代都市高松の発展	・ 文明開化の時代 ・ 高松市の誕生 ・ 連絡船の時代 ・ 市民の生活
	高松空襲	・ 戦時体制 ・ 高松の戦災
	ミニアター	高松訪ね歩記

映像資料

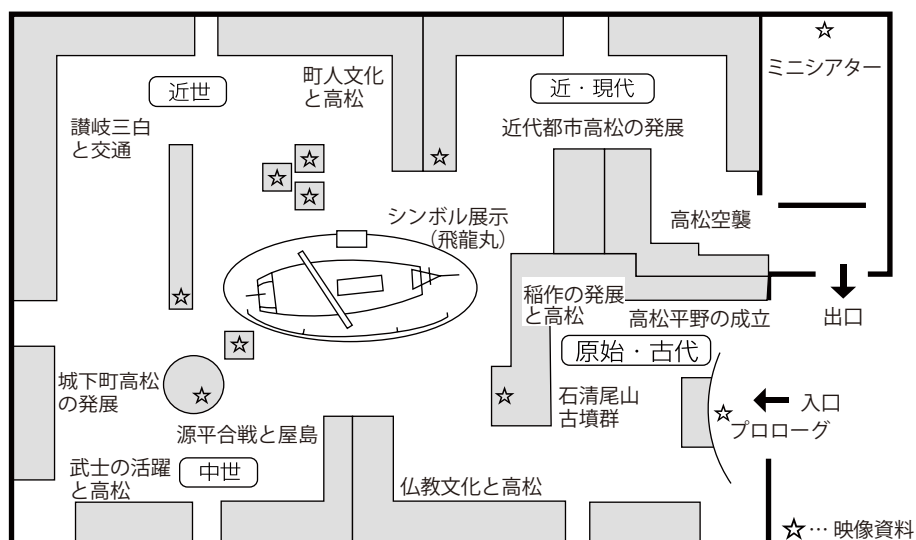
映像種類等	映像資料名
プロローグ	海を渡る
総覧映像	高松歴史ニュース
詳細映像	[原始・古代] 高松平野の姿 旧石器時代の生活 縄文時代の生活 稲作のムラ 石清尾山古墳群 積石塚古墳と盛土古墳 条里のムラを歩く [中世] 兵庫北関入船納帳にみる交易 戦国の世の高松 ― 悲劇の城 喜岡城

映像種類等	映像資料名
詳細映像	[近世] 再現された飛龍丸 城下町の賑わい 木村黙老と「聞ままの記」 高松城下町の変遷 - 塩田風景 - 丸亀町筋と常盤橋 - 石清尾八幡神社 - 寺町筋 - 東浜舟入と内町五町 - 城下の井戸 - 高松藩の藩船 - 本丸と天守閣 [近代・現代] 文明開化の先駆者「川崎舎竹郎」 大正デモクラシーと伏石事件 高松砂漠
ミニシアター 「高松訪ね歩記」	- 塩江美術館に行く - 女木島に行く - 庵治石を訪ねて - 中央球場を訪ねて - 盆栽を訪ねて - ガソリンカーを訪ねて - 庵治・純愛の聖地を訪ねて - 石清尾山古墳群を訪ねて - ため池と伝説を訪ねて～三郎池・平池編～ - 柴野栗山を訪ねて - 御蔵焼を訪ねて - 遍路道を訪ねて - 屋島を訪ねて - 香川漆器を訪ねて - 男木島を訪ねて - 町並みを訪ねて～仏生山・香西編～ - 高松港周辺を訪ねて - 香東川を訪ねて - 披雲閣を訪ねて - 菊池寛を訪ねて - 五色台を訪ねて - 西浜を訪ねて - 保多織を訪ねて - 丸亀町を訪ねて
ファンタビュー	源平屋島合戦

プレイミュージアム(学習室)

コーナー	映像資料名
ビデオ	- 水の武術「水任流泳法」 - 高松市の伝統工芸 ～玉椿象谷と美しき漆芸の世界～ - 高松市の文化財Ⅰ - へんろ道を歩く - 平家伝説を訪ねて ～悲劇の落人たち～ - 忘れかけた手作り遊び ～親子のふれあい～ - 高松の祭礼 - 失われゆくふるさとの手仕事 ～日傘と紙すき～ - 高松市の文化財Ⅱ ～仏像彫刻の世界～ - 古代との対話 ～高松平野の遺跡発掘～ - 失われつつある手仕事「炭焼き」 - 讃岐が誇る文人画家「長町竹石」 - 古代の瓦～瓦が解き明かす歴史～ - 古代の城～屋島に刻まれた歴史～
Q&A	- たかまつのれきしクイズ - おやこでたのしむ香川の民話 - 高松の古い絵葉書コレクション
データベース検索	高松市ウェブミュージアム
高松市の指定文化財 高松市内の伝説	
パズル（高松市の地図）	

常設展示室



プレイミュージアム(学習室)



2 企画展

当館は毎年度、核となる事業として企画展を3回開催している。平成25年度は4回開催し、「古今高松大物産展」、「屋嶋城が築かれた時代」、「知の巨人 藤澤東畝展」、「MAPS ～古地図の楽しみ方～」において讃岐にゆかりが深い人物や史跡等を展示・紹介した。各回の開催にあたり、下記の機関から後援をいただいた。

朝日新聞高松総局・RSK山陽放送・RNC西日本放送・NHK高松放送局・OHK岡山放送・KSB瀬戸内海放送・産経新聞社高松支局・四国新聞社・TSCテレビせとうち・毎日新聞高松支局・読売新聞高松総局

第63回企画展

古今高松大物産展

～うまげなもん ようけあるけん 見に来まい～

会 期
観覧者数

平成25年7月27日～9月1日(32日間)
1,549人(うち有料観覧者数268人)

高松の物産品といえば、国分台で産出され原始には西日本各地で流通した「サヌカイト」、ほうこうさんで有名な「高松張子」、玉椿象谷が独自の技法を生んだ「讃岐漆器」、弘法大師が中国から持ち帰ったといわれる技法で今も作られる「讃岐提灯」、江戸時代に高松藩5代藩主松平頼恭が奨励した「讃岐三白」(砂糖・塩・綿)、そのほかたくさんの工芸品の数々。

本展では、高松ならではの物産品とそれに関わる資料(木簡・絵図・文献・錦絵など)を展示し、高松の物産史を概観。また、現代にも引き継がれている伝統工芸品も製作者の協力を得て出品し、伝統工芸が新しい感性を加えて進化している姿を紹介した。

主な展示資料

- ・「日本山海名産図会」巻一～五 当館蔵
- ・「水産図解」巻上下 当館蔵
- ・歌川広重「大日本物産図会 讃岐国白糖製造ノ図」 当館蔵
- ・「大獅子」 香南歴史民俗郷土館蔵
- ・「菓子木型」 木型工房市原蔵

関連イベント

- 講演会(讃岐村塾タイアップ講演会)(サンクリスタル高松3階・第1集会室)
・「モノと人と情報を運んだ海の動脈」
8月24日(土)午後1時30分～3時／講師:萩野憲司氏(東かがわ市教育委員会)
／参加者35人
- ワークショップ(サンクリスタル高松3階・第1集会室)
・「菓子木型を使って和三盆のお菓子をつくろう!」
8月25日(日)①午後1時30分～2時30分 ②午後2時30分～3時30分
／講師:市原吉博氏(木型工房 有限会社 市原)・上原あゆみ氏(和三盆体験ルーム「豆花」)/参加者56人
- ミュージアムトーク(企画展示室)
会期中の日曜・祝日午前10時30分～／展覧会担当者及び歴史資料館サポーター
／計7回／参加者延べ73人



▲ポスター

印刷物

- ・ポスター(B2)
- ・チラシ(A4)



▲展示風景



▲「菓子木型を使って和三盆のお菓子をつくろう!」

第4回古代山城サミット高松大会開催記念企画展

やしまのき

屋嶋城が築かれた時代

会 期

平成25年9月14日～10月27日(38日間)

観覧者数

2,230人(無料)

663年白村江の戦いで唐・新羅軍に敗れた中大兄皇子(後の天智天皇)は、国土防衛のために山城を西日本の各地に築かせた。そのうちの一つが屋嶋城で、『日本書紀』にその名が記されている。近年まで屋嶋城は所在すら不明の幻の城だったが、平成10年の城壁の一部の発見以後、発掘調査によって平成14年に城門を発見し、その存在が確固たるものとなるとともに、山城の築城技術や構造なども判明した。

また、屋嶋城が築かれた時代は白村江の戦い以後の対外的な緊張関係の中にあり、国家体制の確立が急がれたときだった。地方では、古代山城の築城を契機として、寺院建立、主要幹線道路や条里と呼ばれる地割の整備などをはじめとした国家直営の大規模土木工事が相次いで実施された。支配体制の確立をめざして評制の充実、戸籍の作成、国境の確定などの地方統治のための制度整備や施策が実施され、現在の地方行政の原形が形作られていった。

今回の企画展では屋嶋城のこれまでの調査の成果を詳細に紹介するとともに、発掘調査成果の蓄積が目覚ましい瀬戸内に所在する古代山城についてもクローズアップし、古代山城の構造や築城技術について紹介した。



▲ポスター

主な展示資料

- ・「屋嶋城(浦生地区)出土 平瓶」 高松市教育委員会蔵
- ・「屋島山上(南嶺)出土 壺」 高松市教育委員会蔵
- ・「新羅地域出土 軒丸瓦」 上原コレクション蔵
- ・「難波宮周辺出土 百済土器」 大阪市教育委員会蔵
- ・「小山・南谷遺跡出土 井戸枠」 香川県埋蔵文化財センター蔵
- ・「史跡鬼城山土器溜り出土 土器」 岡山県教育委員会蔵

関連イベント

- 講演会(サンクリスタル高松3階・視聴覚ホール)
 - ・「古代山城と地方支配からみた日本古代国家の成立過程」
9月14日(土)午後1時30分～3時／講師：森公章氏(東洋大学教授)
／参加者190人
- ミニ講座(サンクリスタル高松3階・第1集会室)
 - ・「屋嶋城築城とその時代」
9月28日(土)午前10時30分～12時／講師：渡邊誠(市文化財専門員)
／参加者105人
 - ・「讃岐国の幕開け」
10月26日(土)午前10時30分～12時／講師：信里芳紀氏(香川県埋蔵文化財センター文化財専門員)／参加者80人
- ミュージアムトーク(企画展示室)
会期中の日曜午前10時30分～／展覧会担当者及び歴史資料館サポーター
／計7回／参加者延べ98人



▲図録

印刷物

- ・ポスター(B2)
- ・チラシ(A4)
- ・図録(A4縦・61頁)



▲展示風景



▲講演会

第64回企画展

知の巨人 藤澤東暁展～没後 150 年記念～

ふじさわとうがい

会 期

平成25年11月9日～12月23日(39日間)

観覧者数

2,591人(うち有料観覧者数200人)

現在の高松市塩江町出身の漢学者である藤澤東暁(1794-1864)は、文政8(1825)年に漢学塾である泊園書院を大坂に開いた。泊園書院は幕末には懷徳堂をしのぐ大坂最大の私塾として栄え、その後は息子の南岳、南岳の長子黄鵠、次子黄坡の「三世四代」にわたって受け継がれ、幕末から近代における漢学振興と漢詩文普及に貢献した。

本展は泊園書院の創始者である藤澤東暁の数え年で没後150周年にあたることを記念して、大坂に在住する藤澤東暁から地元揚家へ宛てた貴重な書簡の一部を初めて一般公開するとともに、東暁・南岳・黄鵠・黄坡の三世四代の当主に関係する屏風・書軸・書籍や幕末に活躍した地元出身者ゆかりの資料を展示した。

主な展示資料

- ・藤澤東暁「東暁肖像」 高松市塩江美術館蔵
- ・藤澤南岳「東暁先生文集」 高松市塩江美術館蔵
- ・藤澤東暁「扇面七言律詩」 当館蔵
- ・藤澤東暁「陶淵明 七言絶句」 当館蔵
- ・松平頼該「花鳥図屏風」 個人蔵
- ・「揚家宛藤澤東暁書簡」22通 個人蔵

関連イベント

■講演会

- ・「藤澤東暁と泊園書院の門人たち」(サンクリスタル高松3階・視聴覚ホール)
11月9日(土)午前10時30分～12時／講師:藪田貴氏(泊園記念会会長)
／参加者60人
- ・「藤澤東暁の交友と書」(サンクリスタル高松3階・視聴覚ホール)
11月16日(土)午後1時30分～3時／講師:太田剛氏(四国大学文学部教授)
／参加者40人
- ・「泊園書院と藤澤南岳の学芸」(サンクリスタル高松3階・視聴覚ホール)
11月23日(土・祝)午後1時30分～3時／講師:吾妻重二氏(関西大学文学部教授)
／参加者60人
- ・「藤澤東暁の書簡について」(サンクリスタル高松3階・第1集会室)
11月30日(土)午後1時30分～3時／講師:占部日出明氏(東かがわ市歴史民俗資料館運営委員)／参加者48人
- ・「啄木に泣かれた藤澤代議士 - 藤澤黄鵠と石川啄木 - 」(サンクリスタル高松3階・第1集会室)
12月23日(月・祝)午後1時30分～3時／講師:田山泰三氏(国際啄木学会会員)／参加者76人

■企画展記念「茶会」(歴史資料館ロビー)

11月30日(土)、12月23日(月・祝)午前9時30分～午後4時／席主:藤澤東暁顕彰会
／参加者延べ205人

■ミュージアムトーク(企画展示室)

会期中の日曜午前10時30分～／展覧会担当者及び歴史資料館サポーター
／計7回／参加者延べ72人



▲ポスター



▲図録

印刷物

- ・ポスター(B2)
- ・チラシ(A4)
- ・図録(A4縦・64頁)



▲展示風景



▲「茶会」

第65回企画展 香川大学図書館 ^{かんばら} 神原文庫資料展 MAPS～古地図の楽しみ方～

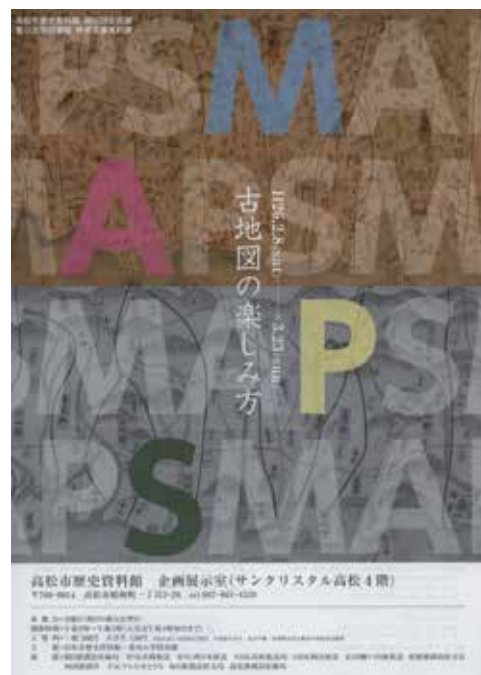
会 期 平成26年2月8日～3月23日(38日間)
観覧者数 1,663人(うち有料観覧者数362人)

古い地図の中で、近世以前に作られた地形や建物を絵画風に表現した地図のことを絵図という。江戸時代、幕府は諸大名に命じてそれぞれの国の詳細な絵図を作らせ、それを徴集して日本全体の国絵図を編集した。この国絵図は、日本全土を国郡制で掌握し、石高や村落を把握する上で、重要な役割を果たした。

また、国絵図のほかにも城下町を描いた城下絵図、宿場・街道などが詳細に記された道中図、船の航海路を示した海路図など、さまざまな絵図が残されている。これらは、縮尺などの正確さには欠けるが、絵画的・史料的価値があるものが多く、その時代を知る手がかりになっている。

幕末になると、測量の技術が高くなり、経緯線を使い距離・方角を正確に表した輿地図とよばれる地図が刊行された。このほかにも、実測に基づいて作成された地図がたくさん出版され、街づくりの整備、観光のために不可欠なものとなった。

香川大学図書館と協同開催する本展では、神原文庫の蔵書の中の古い地図や資料、当館所蔵の高松や香川(讃岐)ゆかりの絵図・地図資料等を合わせて展示・紹介した。



▲ポスター

主な展示資料

- ・「讃岐国絵図」 当館蔵
- ・「《新刻》日本輿地路程全図」 神原文庫蔵
- ・「生駒家時代 讃岐高松城屋敷割図」 当館蔵
- ・「瀬戸内海路図」 当館蔵
- ・「日本鳥瞰中国四国大図絵」 当館蔵
- ・「高松市街図屏風」 当館蔵



▲図録

印刷物

- ・ポスター(A2)
- ・チラシ(A4)
- ・図録(A4横・24頁)

関連イベント

- 街歩きワークショップ
・「古地図を見ながら城下町を歩いてみよう!」
2月22日(土)午後1時～3時／講師：田中健二氏(香川大学教授)
／参加者30人
- 講演会(サンクリスタル高松3階・視聴覚ホール)
・「古地図の楽しみ方」
3月1日(土)午後1時30分～3時／講師：上杉和央氏(京都府立大学文学部准教授)／参加者102人
- ワークショップ(サンクリスタル高松3階・第1集会室)
・「地図を舞台にした世界のボードゲームで遊ぼう!」
3月15日(土)午後1時30分～3時／講師：末原俊幸氏(「世界のボードゲームを広める会ゆうもあ」会員)／参加者38人
- ミュージアムトーク(企画展示室)
会期中の日曜午前10時30分～／展覧会担当者及び歴史資料館サポーター
／計6回／参加者延べ74人



▲展示風景



▲街歩きワークショップ



▲展示資料 讃岐国絵図(当館蔵)

「開かれた資料館」をめざし、当館では教育普及に積極的に関わり、資料を通して市民との対話に努めている。そのひとつに、郷土の歴史をより楽しみながらよく知るために、学校教育との連携を図り、市内の小学生を対象に行う「サンクリスタル学習」を実施している。また、生涯学習の場として、「夏休みこども歴史講座」をはじめ様々な講座などを開催するとともに、博物館実習を希望する学生の受け入れをし、学芸員の養成に寄与している。

1 サンクリスタル学習

当館（4F）は、図書館（1・2F）と菊池寛記念館（3F）との複合館で、「サンクリスタル高松」の名称で呼ばれている。この複合館という利点を生かし、より充実した学習内容と効果をめざすため、市内の小学生を対象とした「サンクリスタル学習」を平成5年度から当館が事務局となり実施している。

展示資料を活用し、分かりやすく歴史を伝え、親しんでもらうために、また、小学生が興味を持って資料に接することができるように、学習の際の補助的な教材として「サンクリスタルノート」を作成している。また、展示解説の際には、校区にある遺跡や古墳などの話を織り交ぜ、興味深く歴史学習ができるように努めている。

サンクリスタル学習を実施するにあたり、各小学校の担当教諭を集めて説明会を開くとともに、それぞれ学習実施前には綿密な事前打合せを行っている。また、必要に応じて各小学校の利便性を考慮し、大型バス等の手配をしている。

サンクリスタル学習参加校

5月	三溪小学校	44名
6月	古高松南小学校	103名
	古高松小学校	126名
	花園小学校	40名
7月	木太小学校	96名
9月	木太南小学校	137名
	国分寺南部小学校	132名
	川岡小学校	35名
	円座小学校	127名
	多肥小学校	161名
	十河小学校	118名
	屋島西小学校	104名
10月	川添小学校	79名
	屋島東小学校	31名
	鬼無小学校	50名
	庵治第二小学校	3名
	川島小学校	101名
11月	弦打小学校	95名
	前田小学校	34名
	太田小学校	154名
	国分寺北部小学校	153名
	香西小学校	95名
	檀紙小学校	98名
	安原・塩江小学校	31名
	植田小学校	35名
12月	牟礼北小学校	78名
	林小学校	81名
	木太北部小学校	126名
	大野小学校	103名
1月	鶴尾小学校	31名
2月	屋島小学校	131名
	香南小学校	42名
	高松第一小学校	112名
合計		33校 2,886名



Ⅱ 教育普及

2 学習室展示

■ 主催事業

「戦時中の高松の暮らし」

平和記念室から資料を借用して展示した。前期は、戦時中の高松の人々の暮らしを写した写真パネルや、当時の雑誌・服などを展示した。また後期には、焼夷弾のレプリカや上空写真などにみる高松空襲の被害状況なども展示し、来館者に当時と今の生活の違いを感じていただいた。

期間：前期 平成25年4月2日～平成25年9月1日

後期 平成25年9月10日～平成26年3月30日



▲ポスター

3 講座

■ 主催事業

夏休みこども歴史講座

郷土高松の歴史をもっと知りたい・学びたいと思う小中学生のためにテーマを決め、現地見学を行う講座を開催した。

古代屋島を探検しよう！

教科書には載っていない屋島合戦の色々なエピソードを聞いたり、当時の屋島の状況や歴史を学びながら実際に史跡を巡り、自由研究の一助とした。

7月30日・8月1日・8月7日／講師：山元敏裕・渡邊誠(文化財課)

／参加者：2回(1回中止)延べ33人(補助者含む)



▲講座風景

歴史資料館特別講座

「屋嶋城と軍王」

10月14日／講師：田山泰三氏(英明高校教諭・郷土史研究家)

／参加者：62人

歴史クイズにチャレンジしよう！

春休み・夏休み・冬休みの期間、中学生以下の子どもを対象に、当館展示物にちなんだ歴史クイズで歴史や資料館に親しんでいただいた。

参加者：延べ570人

古文書講座

実際の古文書を題材に取り上げ、講師を招いて「古文書に暮らしをさぐる」と題し、古文書に親しむ講座を開催した。

8月22日・9月19日・10月17日・11月21日・1月16日・2月20日・3月20日

／講師：三谷敏雄氏(元高等学校教諭)／参加者：7回延べ385人



▲講座風景

■ サポート事業

サポーター養成講座及び活動

サポーターによる展示解説のための事前研修を実施し、必要な能力を培った。

講座名	期日
4月例会	4月7日
5月例会	中止
6月例会	6月2日
7月例会	7月7日
8月例会	7月28日
9月例会	9月8日
10月例会	10月6日
11月例会	11月10日
12月例会	12月8日
1月例会	1月12日
2月例会	2月9日
3月例会	3月2日

活動名	期日 (いずれも午前 10 時 30 分～)	内容
■ 収藏品展「大作家漆原の調度と生活」	4月 21・28日	展示会場にて展示解説
ミュージアムトーク	5月 5・12・19・26日	
	6月 2日	
■ 第 63 回企画展「古今高松大物産展 ～うまげなもん ようけあるけん 見に来まい～」	7月 28日	展示会場にて展示解説
ミュージアムトーク	8月 4・10・11・18・25日	
	9月 1日	
■ 第 4 回古代山城サミット高松大会開催記念企画展 「屋嶋城が築かれた時代」	9月 15・22・29日	展示会場にて展示解説
ミュージアムトーク	10月 6・13・20・27日	
■ 第 64 回企画展「知の巨人 藤澤東暁展 ～没後 150 年記念～」	11月 10・17・24日	展示会場にて展示解説
ミュージアムトーク	12月 1・8・15・22日	
■ 第 65 回企画展 香川大学図書館 神原文庫資料展 「MAPS ～古地図の楽しみ方～」	2月 9・16・23日	展示会場にて展示解説
ミュージアムトーク	3月 9・16・23日	

■ 共催事業

講座名	期日	講師	参加人数
■ 讃岐村塾			
讃岐の豪農	5月26日	平野祐一氏（香川建築探偵団代表 / 一級建築士）	90
旅行案内今昔記～うどん県時間旅行物語～	6月22日	北山健一郎氏（香川県政策部文化振興課 課長補佐）	21
香川の食文化は日本一	7月27日	末原俊幸氏（高松市中央卸売市場業務課 / シニア野菜ソムリエ）	33
モノと人と情報を運んだ、海の動脈	8月24日	萩野憲司氏（東かがわ市教育委員会生涯学習課）	35
古代山城と地方支配からみた国家形成過程	9月14日	森公章氏（東洋大学文学部史学科教授）	190
鬼無桃太郎百年	10月26日	今岡重夫氏（勝賀城跡保存会事務局長）	39
藤澤東暁の書簡について	11月30日	占部日出明氏（東かがわ市歴史民俗資料館運営委員）	48
讃岐ゆかりの大和古印と印人	12月21日	田淵元博氏（藤井学園寒川高等学校教諭）	27
古文書を楽しむ	2月22日	三谷敏雄氏（古文書講座講師）	33
高松藩藩校講道館最後の総裁片山冲堂の 生涯と業績	3月22日	田山泰三氏（英明高等学校教諭）	54

Ⅱ 教育普及

4 博物館実習

博物館学芸員資格取得に必要な博物館実習課程履修のため、各大学から要請のあった学生を受け入れ、博物館実習を行った。

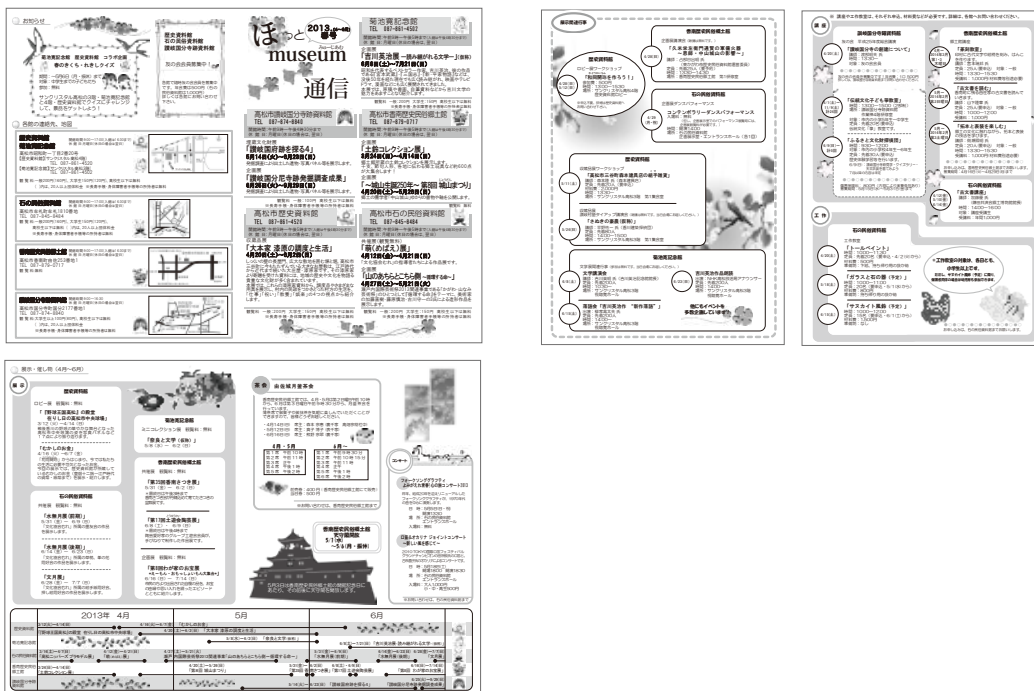
8月5日～8月10日（6日間） 計2人

5 広報活動

館の情報を広く周知し利用促進を図るため、リーフレット・ポスター・チラシ等を高松市内外の関係施設や観光案内所・ホテル等へ配布したほか、インターネットで各種展示・講座の案内、資料紹介、高松の歴史や文化に関する様々な情報提供を積極的に行った。

また、当館・菊池寛記念館・石の民俗資料館・香南歴史民俗郷土館・讃岐国分寺跡資料館の5館の展示やイベント予定を掲載した『ほっと museum 通信』を年4回、5館の取り組みや市民との活動を伝える『高松市資料館だより maimaiko(まいまいこ)』を年1回発行した。

■ ほっと museum 通信



▲2013年春号

■ maimaiko (まいまいこ)



▲第7号（2014年3月発行）

資料整備は、資料館の最も基本的な機能で、かつ重要な役割を占めるものである。

資料の収集・整理・保存を行うことにより、資料館にとって最大の財産である収蔵資料に厚みを増すことができる。これによって常設展示の展示替え、また調査研究を通して企画展示等の方法で市民に還元し、貴重な文化財産を次世代に伝えていく使命を持つ。収集方法としては、購入・寄贈・移管・寄託等がある。

1 収集

■ 購入

12件

資料名	作者・著者名	時代・制作年	員数	全体法量 (cm)		品質
美術工芸 絵画						
山水図	児島竹處	江戸時代	1 幅	縦 208.8	横 65.0	和紙絹
人物画卷	合葉快堂	明治時代	1 巻	縦 16.5	横 60.0	和紙絹
桜図瀧ノ水図	日柳燕石	江戸時代	双幅	(桜) 縦 177.5	横 47.7	和紙絹
				(瀧ノ水) 縦 177.5	横 48.0	和紙絹
松に鳥図	馬場景泉	明治～昭和時代	四曲一隻	縦 91.2	横 172.5	絹
人物画	和田邦坊	大正～昭和時代	1 幅	縦 208.8	横 65.0	和紙絹
山水図	柴野栗山	明治～江戸時代	1 幅	縦 116.0	横 49.0	和紙絹
扇面	三谷石門	明治時代	1 幅	縦 109.0	横 62.0	
馬図	黒田綾山	江戸時代	1 幅	縦 177.0	横 50.5	和紙絹
美術工芸 書跡						
後藤漆谷書（卷子）	後藤漆谷	江戸時代	2 巻	縦 31.3	横 703.4	和紙
				縦 31.3	横 700.2	和紙
歴史 古文書						
細川林谷書状	細川林谷	江戸時代	1 幅	縦 133.5	横 24.0	和紙絹
松平頼恕書状 樋口前中納言宛	松平頼恕	江戸時代	1 紙	縦 19.0	横 54.3	和紙
歴史 書跡・刊行物						
竹田先生印譜 三十一	田能村竹田	江戸時代	1 冊	縦 15.0	横 11.5	和紙

■ 寄贈・移管 ※掲載の順序は、採納手続き順による

5件

冊子『火の用心』	1点
脇差（1点）、弓（2点）、十三仏図（1点）	4点
冊子『「大禹謨」再発見～それを受け継ぐ人たち～』	1点
サイン帖	3点
7代 嵐徳三郎関係資料	29点
	計 38点

■ 寄託

0件

2 貸出・特別利用

■ 貸出

3件

分類番号	資料名	出品展覧会	会場	会期
A.0485 V.0081 V.0095 V.0117 V.0118 V.0122 V.0135 V.0139 V.0140 V.0145 V.0148 V.0168	高松市街空撮写真 高松高校屋上より東を望む 昭和 25 年頃の常磐街入口 21 万都市誕生 昭和 33 年頃の中央通り 花園町長尾線踏切付近 映画全盛期 大雪で倒壊したアーケード 玉藻公園の魔法のカップ 第 10 回高松まつり（中央球場） 瀬戸大橋開通 第 1 回高松まつりが開かれる	「懐かしの瓦町駅周辺風景 写真で見る昭和の高松展」	高松天満屋	平成 25 年 4 月 8 日～5 月 7 日
O.0279 Q.0005 Q.009-02 Q.0034	栗林公園図屏風 源平合戦図画帖 源平合戦図屏風（左隻） 牟礼高松図（森良敬）	「うどん県・時間旅行物語」	やしま源平劇場 りつりん・たまも江戸劇場	平成 25 年 10 月 5 日～11 月 10 日 平成 25 年 10 月 19 日～12 月 1 日
C.0993-1 C.0993-2 C.0993-3 C.0993-4 C.0151 C.0572 C.1022 C.1666-1 C.1666-2 C.1666-3 C.1643 C.0357 C.0586-1 C.0586-2 C.1103 C.1173 C.0461 T.0294 C.1093 C.1636	龍山遺稿 一 龍山遺稿 二 龍山遺稿 三 龍山遺稿 四 女大学宝徳 冲堂先生遺稿 藤澤南岳校疏 増補 蘇批孟子 元 七輯 卷上 七輯 卷中 七輯 卷下 訓蒙絶句 全 日柳燕石印譜 鴻鯉編 上 鴻鯉編 下 讃岐史要 讃陽類狗集 完 柴野栗山 書跡貼交 弘道新説 和陶飲酒詩 全	「～城山生誕 250 年～ 第 8 回 城山まつり」	香南歴史民俗郷土館	平成 25 年 4 月 20 日～5 月 26 日

■ 特別利用

84件

3 高松市収蔵品情報システム

歴史資料館、美術館、平和記念室、菊池寛記念館の収蔵品及び文化財課所管の出土品等のデータを一元管理し、公開可能なものについてインターネットにより広く公開する「高松市収蔵品情報システム」（高松市ウェブミュージアム）を構築するとともに、積極的な運用を図っている。



<http://www.takamatsu-webmuseum.jp/>

4 ボランティア活動

■古文書解読ボランティア

本館で収蔵する古文書等の資料については、平成 10 年度末から本格的に整理分類に着手している。しかし、一連の作業の中核として古文書の解読にあたる職員等の絶対数が不足しており、作業の円滑な進捗が懸念されるため、本館主催の古文書講座の受講生を中心に史料の解読をお手伝いしていただき、一定の成果をあげている。25 年度は書状・冊子などの資料の解読をしていただいた。

参加人数：6 人

高松市歴史資料館年報 平成25年度 No.16

編集 (高松市歴史資料館)

デザイン (高松市歴史資料館)

発行 平成26年7月 高松市歴史資料館

〒760-0014 高松市昭和町一丁目2番20号

TEL 087(861)4520・FAX 087(837)9114

URL <http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/643.html>

U2TAMAKAT
JACIЯOT2IH
MUSEUM
annual report

2013.Apr
|
2014.Mar